













経過 月 日	手術当日 月 日	手術後1~2日目 月 日 ~ 月 日	手術後3日目~ICU退室 月 日 ~ 月 日
到達目標	精神的に落ち着き、安静を保持することができる	酸素飽和度が安定し、排痰することができる ベッド上で背もたれを使用し、座ることができる	ベッドから足をおろして座ることができる 自分で立つことができる
治療 処置 薬剤	<ul style="list-style-type: none"> ・首と両手に点滴が入ります。必要に応じて、血液製剤や輸血を行います ・点滴から、血圧を上げる薬、心臓の動きを助ける薬、抗生剤、胃薬、痰を出しやすくする薬などを使います ・胸の中に血液がたまらないように管が2-3本入り、機械で持続的に吸引します ・心電図などたくさんさんのコードが体に付きます ・心臓の動きを補助するためにペースメーカーが付きます ・口からチューブが入り、呼吸器で呼吸を助けます。そのため、声がでません ・自分で痰を出せないため、管を使って痰の吸引をします ・吐き気を予防するために鼻から胃までチューブが入ります 	<ul style="list-style-type: none"> ・呼吸が安定したら、口のチューブを抜いて、酸素の吸入をします ・痰を出すために、吸入をしたり、深呼吸や上肢拳上運動を行います ・鼻のチューブを抜きます ・お水が飲めるようになれば内服が始まります  	<ul style="list-style-type: none"> ・食事が入るようになれば首に入っている点滴を抜きます 手の点滴はしばらく続きます。 ・胸の管からの排液量が減少してきたら、管を抜きます
手術	□無 ・口有 (術式:)		
全身管理	<ul style="list-style-type: none"> ・心電図モニターを常時装着し、不整脈などの確認をします ・頻回に血圧を測ったり、体の観察をします ・尿量を定期的に測定します ・体温に合わせて、電気毛布を使用し体を温めます ・痛みがあれば、痛みどめを使います ・リフト式の体重計で体を浮かせて体重を測ります ・深部静脈血栓予防のために弾性ストッキングを履きます 	<ul style="list-style-type: none"> ・左に同じです  	<ul style="list-style-type: none"> ・左に同じです ・立って体重計で体重を毎日測ります 
検査	<ul style="list-style-type: none"> ・血液や心電図の検査をします ・時間毎に血糖値を測ります  	<ul style="list-style-type: none"> ・左に同じです ・レントゲン検査をします ・食事開始後は食前・眠前に血糖値を測ります 	<ul style="list-style-type: none"> ・左に同じです
活動・安静	<ul style="list-style-type: none"> ・お薬を使って眠ってもらい、臥床安静となります ・血圧等が安定したら、徐々にベッドの背もたれを起こします ・床ずれ予防と痰がでやすくなるように、看護師が時間毎に体の向きを変えます ・足の屈伸運動や上肢の拳上運動を行います 	<ul style="list-style-type: none"> ・血圧などが安定していれば、ベッドの背もたれを少しずつ起こし、しっかり座ります ・呼吸器が外れたらベッドから足を下して座る練習をします 	<ul style="list-style-type: none"> ・ベッド上では自由に動けます ・ベッドから足をおろして座る練習をします ・ベッドサイドで立つ練習や足踏みをします ・立位が安定していればICU内を歩く練習をします 
食事 栄養指導	<ul style="list-style-type: none"> ・食べたり飲んだりはできません ・点滴で水分や栄養を補給します 	<ul style="list-style-type: none"> ・口のチューブが抜けてしばらくしたらお水が飲めます(飲水量には制限がある場合があります) ・夕方から食事が始まります(三分粥から1日あがり)  	
清潔	<ul style="list-style-type: none"> ・看護師が洗面介助をします ・看護師が口腔ケアを行います 	<ul style="list-style-type: none"> ・看護師が体を拭きます ・食事の前に手浴をします ・歯磨きをします 	<ul style="list-style-type: none"> ・左に同じです
排泄	<ul style="list-style-type: none"> ・尿道カテーテルが挿入されており、自然に尿がでます 	<ul style="list-style-type: none"> ・左に同じです ・排便はゴム便器使用となります 	<ul style="list-style-type: none"> ・主治医の許可が得たら尿道カテーテルを抜きます ・座位が安定していれば、ポータブルトイレを使用します
患者・家族 への説明	<ul style="list-style-type: none"> ・主治医が手術後に病状説明を行います ・面会ができます ・大事なチューブがたくさんあるので抜いてしまわないように注意しましょう ・治療・福祉などのご相談がある場合は、看護師か相談員にお尋ねください 	<ul style="list-style-type: none"> ・手術後は痰がたまりやすいので、しっかりと痰をだすようにしましょう 	<ul style="list-style-type: none"> ・状態に合わせて動く範囲をどんどん広げていきましょう 

※ 症状により、予定と異なる場合があります。分からないことがあればお気軽に主治医や看護師にお尋ね下さい。

※ なお、この計画書を病院側から受け取られた後は、患者さんの責任の下、保管していただきますようお願い申し上げます。

(病棟 号室) 主治医 印 担当看護師署名 担当者署名